

文部科学省の私学助成金が日大に対し大幅な減額が決定した。これはただ単に30億以上の減額を意味するだけでない。これは、**大学自身が教育機関としてしっかりと自覚して、責任を明確にして運営を行え**という強い声明である。さらに、いけば**田中理事長夫妻と一部側近の犯罪を見逃してきたイエスマンの学長、学部長の即刻辞任でなく退職、損害賠償を行え**ということである。高額な報酬、裏金を渡さないと学内の食堂運営はもとより、建設工事に参加できないというまさに犯罪があたりまえの状況、学部長と理事、日大事業部の社長を兼任して毎月300万円の報酬を手に行っているものがあるという実態、その裏では他大学では学生に対する奨学制度の大幅拡充が進んでいるのに日大はその逆ですすんでいるのは「**ちゃんこ田中**」に頻繁に学校の金で来る事業部の社長、理事の高額な報酬の増加や理工学部では教員になるための教職課程において従来はとれていた免許が大幅に縮小されてしまった実態、選択科目が大幅な講師削減で開講できなくなった実態、まさに「**ちゃんこ田中大学**」でありこれが学問の府と言えるのか。事業部の高額な報酬を手に行っていた学部長は「俺は裏金は受け取っていない」などと嘯いているが、しっかりと判を押している以上「めくらばん」であっても責任は免れなく犯罪者である。億といういままでの学部長・理事・社長の報酬を^{返却}変換しても**犯罪**は消えない。また、それでも何も言えない教授達も同罪である。目が学生にむけているのか、これでは大学と言えるのか。理工学部の元学部長がせつせと「**ちゃんこ田中**」に通い理事長の奥さんに裏金を渡し、媚を売りこのほど常務理事になり得意になってかつての部下を連れて「ちゃんこ田中」に日参しているがこれが教育者の姿であろうか。もちろん自分の金ではない。学校の金である。日大の評価は田中理事長が即刻辞任しなければ毎日、毎日、目を追って下落して廃校の憂き目にいつかはなるだろう。「日大ブランドは下がります」と大見得をきったのがまさに嘘であり現実をみたら、大幅な志願者減少になっているのがわからないのか、眼くらなのか。

「学生ファースト」などとよく言えたものだ。選択科目の減少、教職課程の閉鎖、食堂・飲料水の値上げ、これを見たら一目瞭然である。